

令和5年6月11日
今週のベストショット



青松園B 奈多クラブ 対 ブルーマーリンズ戦
投げては完投勝利、打っては満塁アーチのブルーマーリンズ水上投手。
写真：和白新町パイレーツ 中島 孝志

奈多グラウンド 最終回の緊迫した試合を制したチームは・・・

新町ウィンズ (3敗) 0000002 2 藤田●ー今林

奈多サンデーズ (2勝1敗) 0010011X 3 砂場、柴田、土田○ー柴田、壱岐

HR：柴田、近藤 (奈多サ) 盗塁：野々下 (奈多サ)

新町ウィンズ藤田投手、奈多サンデーズ砂場投手ともに立ち上がりの制球に苦しみランナーを背負いながらも二回まで無失点の展開が続く。均衡が破れたのは三回裏、奈多サンデーズが二番柴田選手のレフトの頭上を越えるHRで先制。柴田選手はそのまま四回からマウンドに上がると2イニングを無失点に。ピンチを乗り切った奈多サンデーズは六回裏、四番近藤選手のHRで貴重な追加点を挙げる。しかし新町ウィンズは最終回二死満塁のチャンスを作ると、五番山口選手がレフトへ2点タイムリーを放ち土壇場で試合を振り出しに戻して好投を続けていた藤田投手を援護する。同点に追いつかれた奈多サンデーズはその裏、一番野々下選手が四球で出塁して盗塁で三塁まで進むチャンスを作ると、二番柴田選手の犠牲フライでサヨナラ勝ちを決めた。両チーム投手が勝負どこで粘りを見せ良い投手戦の試合だった。今日のヒーロー奈多サンデーズ柴田選手は先制HR、リリーフ、サヨナラ犠牲フライと「SHOHEI OHTANI」張りの二刀流をやったのけた。(記事・写真 三苦ホーネッツ 只松 輝大)



奈多サンデーズ先発の砂場投手。



新町ウィンズ先発の藤田投手。



七回表ウィンズ桐島選手同点のホームイン。



七回裏サンデーズ野々下選手サヨナラのホームイン。



本日のヒーロー、サンデーズ柴田選手と近藤（崇）選手。

青松園B ブルーマーリンス辛勝！！

奈多クラブ (4敗) 101003 5 西宮●-安河内

ブルーマーリンス (2勝2敗) 601000 7 水上○-坂本

HR: 水上 (ブルー) 3 BH: 今林 (卓) (奈多ク) 児玉選手 (ブルー) 2 BH: 松田選手 (奈多ク)

盗塁: 原 (ブルー)

一回表奈多クラブは、一番米満選手が内野安打で出塁し、WP等で三進するとキャッチャーのエラーで1点を先制する。しかしブルーマーリンス水上投手が後続を二連続三振で抑え1失点に抑える。一回裏ブルーマーリンスは、一番児玉選手がいきなり三塁打を放つと、続く二番井上 (紘) 選手のタイムリーヒットで同点に追いつくと、四番糸井選手の三塁線を破る二塁打で逆転。さらに一死満塁として七番水上選手のグランドスラムもありこの一回一挙6点を奪う。三回には両チーム1点を追加。逆転したい奈多クラブは六回表、五番安河内選手の内野安打で出塁すると六番木下選手もセンター前、四球を挟んで代打松田選手の2点タイムリー二塁打もあり3点を返すが、反撃もここまで。終わってみれば、ブルーマーリンス水上投手が9個の三振を奪う好投で辛勝した。(記事・写真:和臼新町パイレーツ 中島 孝志)



奈多クラブ先発の西宮投手。



好投のブルーマーリンス水上投手。



三振を奪うブルーマーリンス水上投手。



鋭い打球を放つブルーマーリンス四番の糸井選手。



一回裏、満塁HRを放つブルーマーリンズ七番水上選手。



三回表、1点を返す奈多クラブ。



ブルーマーリンズ本日のヒーロー。

青松園A 最後まで手に汗握る展開に・・・

ソルトベイスターズ（2勝1分）4 4 1 9 江良○、酒井一山ノ川

雁の巣ライナーズ（3勝1敗）1 2 4 7 柴田●一有村

HR：江良(ソルト)中内(雁の巣) 3BH：宇野(雁ノ巣) 2BH：新郷、酒井、大門(ソルト)

予想以上の雨量で開催が危ぶまれるも、早速、準備した水たまり対策のスポンジで整備して試合開催！！一回表ソルトベイスターズの攻撃は、前回ノーヒットノーランを達成した柴田投手の前に、好調の一、二番が簡単に打ち取られるも、ここで終わらないのが今年のソルトベイスターズ。三番野口選手がセンター前ヒット、二度のWPで三塁へ進んだ後、四番江良選手が四球を選ぶ。ここで五番中村選手の時に機動力を使いダブルスチールを敢行。見事先制した後、中村選手が一塁強襲ヒットでつなぐと、六番酒井選手、七番大門選手の右中間へのタイムリー2ベースで3点を追加し、初回から4点を先制する。一回裏雁の巣ライナーズは不安定な立ち上がりのソルトベイスターズ江良投手から三連続四球を選

び、一死後五番正内選手のセンター犠牲フライ。ノーヒットで1点を返すも、後続が打ち取られ1点止まり。続く二回表は、九番石井飛羽選手の三遊間の当たりをサード中内選手が横っ飛びで好捕するも一塁へ悪送球。二塁へ進んだ後、一番新郷選手が右中間へタイムリー2ベース、続く二番吉田選手がそつなく送りバントを決め一死三塁、三番野口のライト前タイムリーヒットを演出。そして四番江良選手がレフトへホームラン性の大ファールの後、ライトへ強烈に流し打つとライト上村選手のダイビングも届かず、二点本塁打となる。二回裏ライナーズは、七番上村選手が四球を選び、ワイルドピッチで二塁へ進むと、一死後、九番池内選手がレフト前タイムリーヒットで1点を返し、続く一番明瀬選手がセンター前ヒット。二死後、三番有村選手の一二塁間の内野安打でさらに一点追加し、チャンスが続くかと思えたが、好捕したセカンド中村が好判断で間に合わない本塁でなく三塁へ送球し、俊足の一塁ランナー明瀬選手を刺殺。四番宇野選手の前での大きなプレーとなり、ライナーズの反撃を2点に抑える。三回表ソルトベスターズは、七番大門選手、八番山ノ川選手が連続ヒットの後、九番石井選手、一番新郷選手がしぶとく内野ゴロを転がし1点を追加。ライナーズにとっては重い1点となる。三回裏ライナーズの攻撃は、四番宇野選手が片手一本ながら左中間に大きな当たり、俊足のセンター新郷選手のグラブをかすめるも及ばず、反撃開始の三塁打を放つ。一死後、六番中内選手が強烈な打球で三塁線を破ると、そのままレフト線を破る2点本塁打。ここから下位打線となるが、七番上村選手、八番代打竹中選手と連続四球。しかし盗塁死がありここでチャンスが終えたかに思えたが、二死後九番の代打中野選手が六球粘って四球を選び一番につなげると、さらに連続四球で1点を返し三点差。ここでソルトベスターズは火消しで酒井投手をマウンドへ。ここで75分を超え最後の攻撃となる。長い守備時間で、準備のできていなかった酒井投手が三番有村選手へ死球を与え、9対7の2点差。打者一巡となり、先ほど左中間へ三塁打を放った四番の宇野を迎える。息詰まる展開で、抑え投手と四番の緊迫な対戦となるも、最後は酒井投手がセンターフライに抑え、息詰まる熱戦を制した。最後まで諦めない雁の巣ライナーズのベンチを含めた声出しや一体感が一方的な試合展開を熱戦としたが、最終的には初回よりそつのない打撃や機動力（ダブルスチール）、送りバント、投手交代と石井監督の采配が冴え、今シーズン台風の目となっているソルトベスターズが制した。（記事：三苦三球会 渡邊 航一郎、写真：岩本 賢人）



試合前から大活躍のスポンジ。



足元が悪い中、何とか試合開始。



前回ノーヒットノーラン達成、ライナーズ先発柴田投手。



ソルトベ이스ターズ先発の江良投手。



一回表。ソルトベ이스ターズはWスチールで見事先制。



タイムリー2ベースを含む2安打ソルト七番大門選手。



HR性の右中間二塁打を放つ切り込み隊長一番新郷選手。



三振前の(?)レフトへ大ファールを放つ江良選手。



ジンクスに負けず見事ライトへ流し打ちHR江良選手を迎える石井監督。



一二塁間のあたりを好捕、ソルト中村二塁手。



好捕した中村選手が落ち着いて三塁へ送球、二、三塁間で刺殺されるライナーズ明瀬選手。



片手一本で、左中間三塁打を放つ宇野選手(信じられない!!)。



ライナーズ最終回の反撃の口火を切る中内選手。



強烈なゴロが三塁線、そしてレフト線を破る。



2ランHRを放った中内選手を迎え、盛り上がるベンチ。



最終回、大ピンチでマウンドへ上がった酒井投手。



宇野選手を見事センターフライに打ち取り、ゲームセット。



健闘を称えあう両監督、両チーム。



左：見事な火消し②酒井投手、投打に活躍先発⑩江良投手。
中央にこっそり映り込む③山ノ川捕手。